

勝を目指し訓練中です。

ハンドボール テニスと同じく八回

優勝しています。この競技は、全国レベルの競技力を持つている種目です。

今回は、成年女子を中心に九回目の優勝をねらっています。

クレー射撃 過去四回優勝しています。

す。今回も活躍が期待される種目で、地元の利をフルに生かし優勝してほしいものです。

陸上競技 昭和五十六年・五十七年と連続第二位に甘んじています。今は男子長距離を中心で優勝をねらえる選手をそろえています。第十回大会で初優勝をめざしています。

サッカー 陸上競技と同様に、二年連続第二位です。この競技は東北六県の力が接近しているため、試合の流れをつかめば、十分に優勝できる力をもっている種目です。

以上八種目をとりあげてみましたが他の競技も大会にそなえて競技力の強化をはかつており、各種目とも選手には今までにない志気の高揚がみられ、大いに活躍が期待されます。

後援

福島県教育委員会  
福島県高等学校体育連盟  
県内十一会場地市町村と宮城県

石巻市 石巻市教育委員会及び体育協会

福島県  
日本体育協会

県内十一会場地市町村と宮城県  
石巻市 石巻市教育委員会及び体育協会

なお、具体的な内容については、別表

## 第10回 東北総合体育大会 会期・会場地・競技会場

○ 開催期日：昭和58年9月2日(金)～9月4日(日)

申込締切 8月15日

会場名	競技種目	日程					参加人數	競技会場	国体予選
		2 日 曜 日	3 日 曜 日	4 日 曜 日	5 日 曜 日				
福島市 (12)	中央開会式	○						県文化センター	
	1 陸上競技	◎	○				854	福島市信夫ヶ丘競技場	
	2 テニス	◎	○				138	福島市庭球場	◎
	3 剣道	◎	○				213	福島北高	
	4 ホッケー	◎	○				259	学法福島高南松川グラウンド 矢野目小学校	◎
	5 相撲		◎				91	県営相撲場	
	6 バスケットボール	△	○	○			312	福島女子高校 福島体育馆	◎
	7 弓道	◎	○				96	福島市福島武道館弓道場	◎
	8 馬術	◎	○	○			120	福島競馬場	◎
	9 ソフトボール	◎	○	○			339	福島農畜高 (株) 松下電器 福島西女高 学法成蹊女高	◎
	10 フェンシング	◎	○				107	福島商高	◎
	11 銃剣道		◎				90	福島東高体育馆	◎
	12 ライフル	◎	○				30	県警察学校(C.P.)	◎
郡山市 (6)	13 サッカー	◎	○	○			266	日本大学工学部 郡山市開成山競技場 郡山北工高	◎
	14 卓球	△	○	○			147	郡山総合体育馆	◎
	15 空手道	◎	○				179	安積高	◎
	16 ラクロ	◎	○	○			424	郡山市熱海サッカーフィールド	◎
	17 アーチェリー	△	○	○			96	郡山市開成山陸上競技場補助競技場	◎
	18 ボクシング	◎	○				77	郡山総合体育馆小体育馆	◎
二本松市	19 柔道	◎	○				72	二本松工高	
二本松市 大玉村	20 山岳	◎	○	○			92	安達太良山	◎
会津若松市	21 軟式庭球	◎	○				168	会津若松市當庭球場	◎
河東町	22 バドミントン	◎	○	○			256	県営会津体育馆	◎
白河市	23 クレー	◎	○				78	磐梯國際射擊場	◎
いわき市 (4)	24 バレーボール	△	○	○			456	白河体育馆 白河高 白河女高	◎
	25 軟式野球	◎	○				218	いわき市平野球場 いわき市小名浜野球場 いわき市常磐浅貝球場	◎
	26 ハンドボール	△	○	○			312	いわき市立総合体育馆 磐城高	◎
	27 自転車	◎	○				132	いわき市平競輪場	
	28 ウエイトリフティング	◎	○				118	いわき市立平体育馆	
原町市	29 体操	◎	○	○			263	県営原町体育馆	◎
田島町	30 レスリング	◎	○				157	田島町民体育馆	
伊達町	31 なぎなた			◎			60	伊達町民体育馆	
石巻市(宮城県)	32 ライフル	8月27日	◎	158	宮城県營射擊場(C.P.途く)	除く	6484		◎
		8月28日	○						

中央開会式 昭和58年9月2日(金)午後5時 福島県文化センター

△印 種目別開会式 ◎印 種目別開会式後競技 ○印 国体地区予選

「第十回東北総合体育大会会期・会場  
地・競技会場一覧」を参照してください。

一度の地元大会というだけでなく、今後の本県における競技力を向上させる

一里塚です。本県の競技力は、昭和五十三年の全国インターハイを境にしてやや伸び悩みの傾向にあります。これに歴史をかけ、昭和七十年福島国体に備えるためにも本県勢の活躍が大いに期待されるところです。